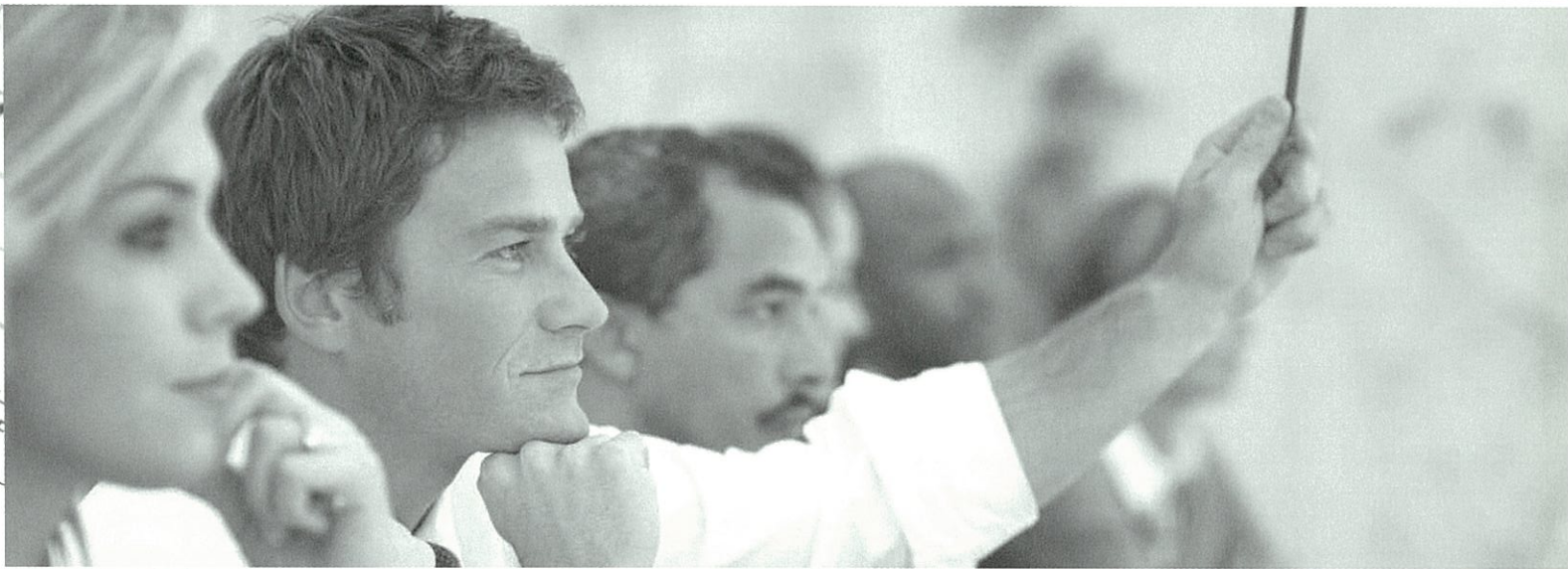


JaSIA
Japanese Society of Independent Appraisers
日本資産評価士協会

ASA
American Society of Appraisers
Providing Value Worldwide

一般社団法人 日本資産評価士協会
JAPANESE SOCIETY OF INDEPENDENT APPRAISERS



一般社団法人 日本資産評価士協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F

TEL: 03-3358-9883 FAX: 03-5269-6357

<http://www.jasia-asa.org/>

ASA
American Society of Appraisers
Providing Value Worldwide

JaSIA
Japanese Society of Independent Appraisers
日本資産評価士協会

<http://www.jasia-asa.org/>

グローバル化に即した資産評価制度の普及・促進により、国際競争力強化に寄与します。

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRSの導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応するマルチディシプリナリーな(多岐の専門領域にわたる)資産評価のインフラ創設に向け、NPOの活動を継承して有志により設立されました。EPA/FTA、TPP、IFRSの導入など経済のグローバル化へ向けた動きが加速化し、資産の時価評価を前提とした企業経営へシフトしつつありますが、日本に於いては不動産鑑定制度を除いては資産の時価評価制度のインフラがなく、グローバル化への対応が殆どされていないのが現状です。

日本資産評価士協会は、総合的な資産評価制度を普及させ、信頼性の高い資産評価の専門家を養成するため、機械設備・事業評価を中心に国際的な認知と権威を有するASA(American Society of Appraisers=米国鑑定士協会)より委託を受け、ASAの国際資産評価士資格の取得に向けた教育・研修プログラムを提供している国内唯一の機関です。私共、日本資産評価士協会は、急速にグローバル規模の統合化が進む評価基準・実務のわが国への紹介・普及を通じて、わが国の経済及び企業活動のグローバル化を支える資産評価における社会インフラの創設に寄与し、日本の国際競争力強化に貢献します。

日本資産評価士協会の活動

ASAの資産評価士資格は、世界4大会計事務所(ビッグ4)の間でも広く認知されています。

ASA資産評価士(機械・設備)養成講座の実施

わが国では機械設備は伝統的に税務上の簿価を使用するのが一般的で、国内に時価評価制度のインフラが不在で、減損会計の適用やABL(動産担保融資)の普及等で大きな支障となっております。当協会ではASAの機械設備評価士資格の取得講座の日本語化にいち早く着手し、国際資格取得に向けた日本語による養成講座を提供しております。本講座では、ASA本部から経験豊かな認定講師を招き、日本語環境での講義を行います。この講習を通じ、IFRS(国際財務報告基準)及びIVS(国際評価基準)に準拠した機械設備の評価理論及び実務を修得し、グローバルスタンダードに基づく機械設備の評価ノウハウを修得することができます。



事業評価、知財評価セミナーの実施

ASAは機械設備に加え、IFRS及びIVS準拠の世界に先駆けて事業価値評価(知的財産を含む)の講座の開発を行い、世界的に提供しております。日本資産評価士協会は、ASAとの提携の下、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等を行っています。

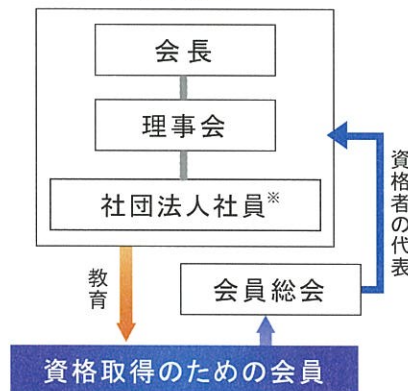
総合資産評価制度の啓蒙・普及に係る事業

政府の「知的財産政策に関する基本方針」に対する意見陳述や経済産業省・金融庁の推奨するABL普及活動に対する支援、各種業界団体に対するセミナー・講座の提供等、総合資産評価制度の普及・促進へ向け、積極的に活動を行っています。

概要

名称	一般社団法人日本資産評価士協会 Japanese Society of Independent Appraisers (JaSIA)
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-12-12 オスカカテリーナビル5F
TEL	03-3358-9883
FAX	03-5269-6357
WEBサイト	http://www.jasia-asa.org/
目的	わが国における国際的な資産評価制度の促進をもって社会貢献すること
設立年月日	2009年4月
Email	info@jasia-asa.org

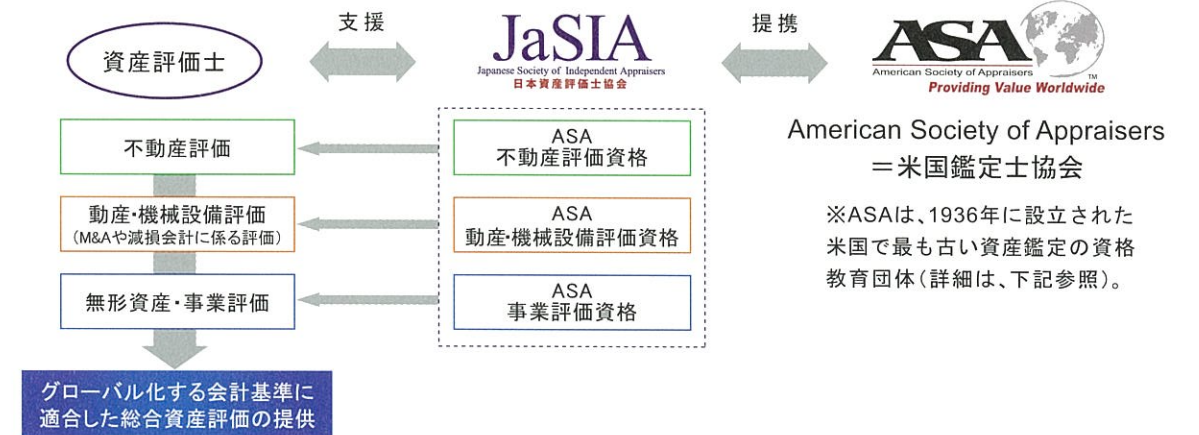
< 組織図 >



※社団法人社員とは、JaSIAの設立趣旨に賛同し、その趣旨の実現に向けた公益活動に協力する意志をもって協会に参加した者。

ASAとの関係

日本資産評価士協会は、日本で唯一ASA(米国鑑定士協会)の資格評価教育を提供している機関です。



日本資産評価士協会(JaSIA)について

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRSの導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応する総合的な資産評価のインフラ創設に向け、教育事業、研究、提言、その他啓蒙活動の実施を目的として、不動産鑑定士、公認会計士、弁理士、学会等の有識者が中心となり設立された非営利の社団法人。その主要事業として、米国ASAとの業務協定により、日本でのASAの資格・教育制度の普及を担っており、動産、機械・設備、事業評価(知的財産を含む)の資産評価士育成のため、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等の提供をしている。また、政府の「知的財産推進計画」に対し意見の具申等を行っている。協会の目的は、我が国に欧米並みの資産評価という新たな専門的職能を確立し、小口のニーズに対しても安価で信頼性の高い資産評価サービスが提供出来る社会インフラを創設することに寄与することである。

米国鑑定士協会(ASA)について

ASAは米国の首都ワシントンに本部を持ち、1936年に創設された米国の最も古い歴史を有する鑑定教育・資格の業界自主団体で、1987年の米国鑑定財団(The Appraisal Foundation/TAF[®])の創設メンバー(8団体)を主導。現在不動産、動産、機械・設備、事業(含む知財)、美術品、宝石等それぞれの専門分野での評価に関する教育と資格認定を提供している。動産、機械・設備、事業評価の分野に於いては特に高い権威と信用力を誇っており、ASAの鑑定教育・資格は、北米に加え、欧州(東欧を含む)、南米、アフリカ、中国、その他アジア諸国、オセアニア等にて広く受け入れられ、これらの国々における評価のスタンダードとなっている。特に機械設備の分野では、ASAは、世界で唯一国際的にも認知される評価士の認証を与えている機関である。また、ASAは現在IFRSに対応した国際評価基準(IVS: International Valuation Standards)の策定作業についても、TAFと共に積極的な役割を果たしている。(※米国政府にも認知されるUSPAP(米国統一鑑定業務基準)の制定母体。)